

### 咀嚼障害をおこす全ての患者が治療領域

咀嚼・嚥下、構音に関わる重度の口腔機能障害を伴う疾患（顎変形症、口腔腫瘍、歯槽堤萎縮症、顎関節症）や、睡眠時無呼吸症候群、舌痛症などに対して高度な医療を提供することを目標としています。



#### 診療体制

一般歯科口腔外科診療、各専門医による専門外来を開設しています。顎矯正、口腔腫瘍、組織再生インプラント、顎関節、睡眠呼吸障害、顎顔面骨折の各外来をはじめ、口蓋裂児に対する唇顎口蓋裂補綴外来を設けています。

#### 対象疾患

智歯および埋伏歯、顎変形症、口腔腫瘍、歯槽堤萎縮症、顎関節症、顎嚢胞、睡眠時無呼吸症候群、舌痛症、顎顔面骨骨折、顎顔面組織欠損、重症口腔感染症、口腔乾燥症などや有病者の歯周病など。

#### 診療、研究実績

##### 一般的な診療についての実績

平成18年度は3,232名の新患があり、受診総数は20,975名、患者紹介率は約45.8%でした。デイサージャリーは1,095件。また年間入院症例は419名、年間延べ入院患者数は5,527名、手術部での年間手術件数は187件でした。

##### 高度医療の取り組み・研究

###### ①インプラント義歯

専門外来で通常の義歯による咀嚼機能の回復が困難な高度の歯槽堤萎縮症に対して歯科インプラント治療を行っています。

###### ②顎顔面補綴

専門外来で顎顔面の腫瘍切除後、外傷あるいは先天性の骨・軟組織欠損に対して、インプラントを応用したエピテーゼの作製を行い、審美的・機能的回復を行っています。

###### ③口腔領域の歯牙・骨軟骨の再生医療

歯牙の歯髄や顎関節液中の特殊な細胞を採取・増殖させ、歯牙や顎骨や顎関節軟骨の再生を目的とした研究を行っています。

